

受講番号					
------	--	--	--	--	--

令和 7 年度

登録道路等法面保護基幹技能者認定試験

＜注意事項＞

1. 開始の合図があるまで開かないでください。
2. 試験時間は 14 : 30～16:10 の 100 分です。
3. 試験問題は、択一式と記述式に分かれていますので、時間配分に留意してください。
4. 開始の合図があったら、問題用紙および解答用紙 2 に受講番号を記入してください。また、別紙の解答用紙-1（マークシート）に氏名と受講番号を記入し、受講番号欄の下の該当する数字（受講番号）も塗りつぶしてください。
5. 問題は、択一式問題-1～25 の 25 問、記述式問題 1 問となっております。
6. 択一式問題には、「適切なものを選びなさい」と「適切でないものを選びなさい」の問いかけがありますので、よく注意し正答と思われるものを一つ解答してください。
7. 問題-1～25 の解答は、別紙の解答用紙-1（マークシート）に記入してください。マークシートは鉛筆で明確に塗りつぶしてください。これは機械で読み取りますので、汚したり折り曲げたりしないよう注意してください。
8. 記述式問題の解答は、解答用紙-2 に横書きで記入してください。
9. 問題冊子の末尾にメモ用紙があります。試案の作成、試算などに使用してください。メモ用紙は切り離さずに、問題冊子と一緒に提出してください。
10. 氏名、受講番号の記入漏れがないか確認してください。

【※択一式問題と記述式問題は、合格するためには、それぞれに一定水準の得点が必要です。】

令和 7 年 6 月 18 日 東京会場



一般社団法人 全国特定法面保護協会

問題 1. 登録基幹技能者に求められる施工管理の記述で**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 施工管理については、技術者だけの役割と捉えないで、工事全体の施工管理をするためには、登録基幹技能者にとっても、大事な役割となっている。
- (2) 登録基幹技能者は、現場の日常の状況変化を捉えるために現場内を巡回し、他業種の進捗状況を把握するが、関連業種との調整については技術者が行う。
- (3) 登録基幹技能者は、安全性と経済性を考慮した適切な施工方法を技術者に提案することが大事である。
- (4) 土工事との作業内容の調整が重要視されるので、施工図の内容の把握はもちろんのこと、施工の開始に当たっては、技術者と工事内容の最終確認をしてから実施することが重要である。

問題 2. 労働基準法遵守事項の記述で**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 均等待遇：労働者の国籍、信条、または社会的身分を理由として労働条件を差別してはならない。
- (2) 平均賃金：平均賃金とは、これを算定すべき事由の発生した日以前 6 ヶ月間に、その労働者に対し支払われた賃金の総額をその期間の総日数で除した金額を言う。
- (3) 休日：毎週 1 回又は 4 週を通じて 8 日以上の日を休めなければならない。
- (4) 療養補償：労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかった場合においては、労働者は、その費用で必要な治療を行い、又は必要な治療の費用を負担しなければならない。

問題 3. 「登録基幹技能者が行うべき技能者の指導・教育」に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 指導に当たっては、「教える」→「やってみせる」→「やらせてみる」→「修正する」を繰り返すことが大切である。
- (2) OJT は、自らの仕事の片手間に行うしかなく、OJT を実施することで仕事のペースが落ちてしまっても仕方ないと考えたほうが良い。
- (3) OJT を行う上での目標設定に当たっては、できるだけ定量的で具体的な目標を設定した方が、部下が目標に向かうモチベーションを高めやすい。
- (4) 指導で大切なことは、自分で考え、工夫させることであり、指示どおりに行うことを徹底し、指示通りにできたかどうかその結果を評価することだけではない。

問題 4. 適用除外申請を行わない場合に、社会保険の加入義務に関する次の表の（ A ）と（ B ）に当てはまる語句として、**適切な組み合わせ**を選びなさい。

事業所の形態	常用労働者の数	就労形態	健康保険	年金保険	雇用保険
法人	1 人～	常用労働者	協会けんぽ	厚生年金	加入
	－	役員等	協会けんぽ	厚生年金	適用除外
個人事業主	5 人～	常用労働者	（ A ）	（ B ）	加入
	1～4 人	常用労働者	国民健康保険	国民年金	加入
	－	一人親方	国民健康保険	国民年金	適用除外

- (1) A：国民健康保険 B：国民年金
- (2) A：協会けんぽ B：国民年金
- (3) A：協会けんぽ B：厚生年金
- (4) A：国民健康保険 B：厚生年金

問題 5. 施工計画の流れに関する次の記述のうち、適切なものを選びなさい。

- (1) 基本計画 → 事前調査 → 管理計画 → 詳細計画
- (2) 基本計画 → 事前調査 → 詳細計画 → 管理計画
- (3) 事前調査 → 基本計画 → 管理計画 → 詳細計画
- (4) 事前調査 → 基本計画 → 詳細計画 → 管理計画

問題 6. 仮設備計画の直接仮設工事として適切なものを選びなさい。

- (1) 工事用道路
- (2) 支保工足場
- (3) 現場事務所
- (4) 防護設備、安全施設

問題 7. 施工手段に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として適切なものを選びなさい。

施工手段（5M）	—	人または労力（Men）
	—	材 料（Materials）
	—	方 法（Methods）
	—	機 械（Machinery）
	—	（ A ）
(1) 管理（Management）		
(2) 資金（Money）		
(3) 計測（Measurement）		
(4) マニュアル（Manual）		

問題 8. 安全管理計画のハインリッヒの法則に関する次の記述のうち適切なものを選びなさい。

- (1) 1（死亡・重傷）：29（軽傷）：100（無傷災害）
- (2) 1（死亡・重傷）：29（軽傷）：300（無傷災害）
- (3) 1（死亡・重傷）：59（軽傷）：300（無傷災害）
- (4) 1（死亡・重傷）：59（軽傷）：100（無傷災害）

問題 9. 工程管理において、登録基幹技能者として PDCA サイクルを用いて管理する際の記述のうち適切なものを選びなさい。

- (1) Plan ⇒ 計画を立てる。
- (2) Do ⇒ 計画に基づき実施する。
- (3) Check ⇒ 計画と実施を比較検討する。
- (4) Action ⇒ 報告書を提出する。

問題 10. 急傾斜地での工事が多いのり面工事において、登録基幹技能者として作業計画、工程計画をする際の事前調査事項として適切なものを選びなさい。

- (1) 突貫工事となるような施工速度を極端に早め施工ができるかを検討する。
- (2) 現場周囲の地形踏査を行い、ロープ設置箇所、昇降設備・作業通路、施工箇所と下方状況などを確認する。
- (3) 地層、表土、浮石などの状況を確認する。
- (4) 資機材搬入道路、近接道路、交通量の状況を把握する。

問題 1 1. 登録基幹技能者として現場の円滑な工程管理を行う際の記述のうち**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 作業内容を明確にした工程表で工程管理を行う。
- (2) 目的に合った工程表で工程管理を行う。
- (3) メリットを理解した工程表で工程管理を行う。
- (4) 品質などの工程能力図の測定値を並び替えて工程管理を行う。

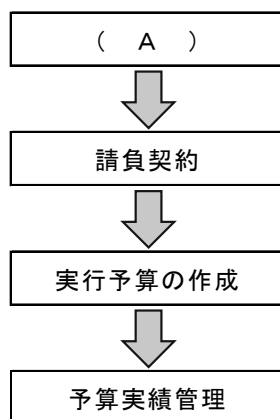
問題 1 2. 資機材管理計画に関して工事を円滑に運営するための対応として、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 規格・仕様に適合した品質の資材を適正な価格で発注する。
- (2) 進捗、環境、状況に見合った数量ごとに順序よく指定した場所へ搬入する。
- (3) 資材の形状等に合わせた保管管理を行う。
- (4) 工事稼働中は施工最優先となるので、資機材置場の整理整頓は行わない方が良い。

問題 1 3. 原価管理のポイントに関する記述のうち**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 見積原価の管理
- (2) 実行予算の作成
- (3) 見積書の作成
- (4) 予算実績管理

問題 1 4. 原価管理計画に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、**適切なもの**を選びなさい。



- (1) 見積原価の管理
- (2) 標準原価の管理
- (3) 実際原価の管理
- (4) 製造原価の管理

問題 1 5. QC 7つ道具に関する次の記述の（ A ）に当てはまる語句として、**適切なもの**を選びなさい。

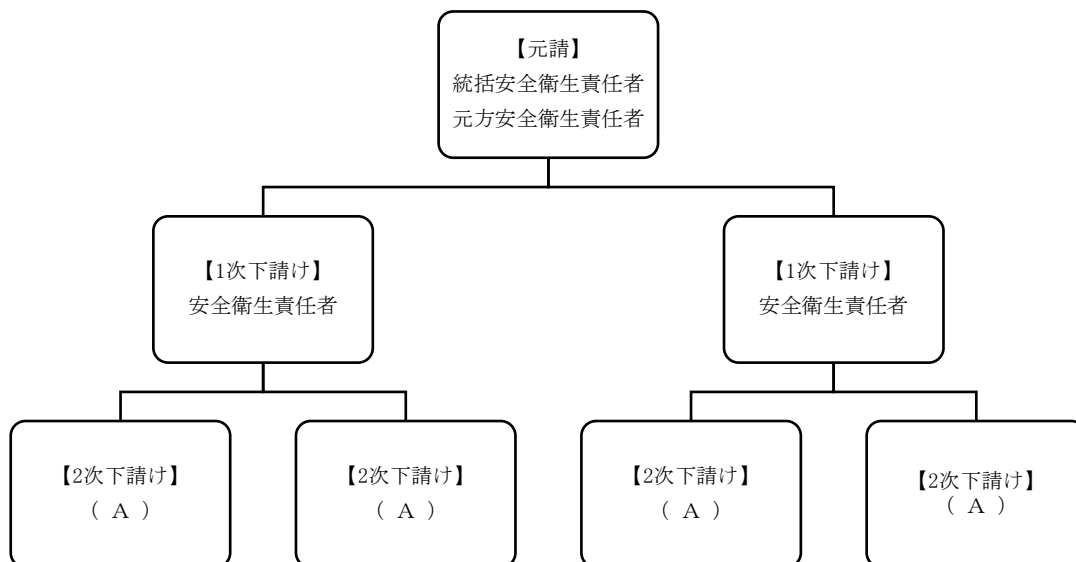
特性要因図、チェックシート、層別、パレート図、管理図、（ A ）、散布図

- (1) ヒートマップ
- (2) ピボットテーブル
- (3) ダイアログボックス
- (4) ヒストグラム

問題 1 6．品質の特性に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) JIS 規格とは、産業標準化法に基づき制定される国家規格である。
- (2) ISO 規格とは、国際標準化機構によって策定された国際標準規格である。
- (3) ISO25010 は、ソフトウェア製品の品質を評価するための国際標準規格である。
- (4) JASS とは、産業標準化法に基づき制定される国家規格である。

問題 1 7．次の表の（ A ）に当てはまる語句として、**適切なもの**を選びなさい。



- (1) 作業責任者
- (2) 安全衛生責任者
- (3) 工事責任者
- (4) 法令上の責任者は不要

問題 1 8．墜落防止対策の基本に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 高さが 2m から 3m の足場組立を行う場合、作業床を設置しなくてもよい。
- (2) 作業床の設置が困難な場合は、落下ネットの設置と墜落防止器具を使用する。
- (3) 作業床は、幅 40 cm 以上とし、かつ、床材のすき間は 3 cm 以下とする。
- (4) 手すりは床面から高さ 85 cm 以上で、中さんと必要に応じ幅木を設ける。

問題 1 9．リスクアセスメントに関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 作業を始める前に（計画段階で）、その作業に潜むリスク（危険な物、有害な物）を洗い出す。
- (2) 洗い出したリスクそれぞれのどの程度の頻度で発生するのか、どのくらいの怪我、病気になるかなどのリスクの大きさを予想（見積り）する。
- (3) 予想したリスクそれぞれについて大きなものから順に、許容できないリスクはすべて対策をたてる。
- (4) 作業中に対策を実施しながら、許容できないリスクを減らす。

問題 20. のり面緑化工を設計する際の基本的な考え方の記述として、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 植生工は、使用植物の発芽、生育や使用材料の特徴の他に気象、のり面の地盤や勾配、施工時期などを考慮して選定する必要がある。
- (2) 植生工は、雨水による浸食防止の他にのり面崩壊など構造的な破壊を防止する効果も期待できる。
- (3) 高木種が優占する植物群落を成立させるためには、のり面勾配を 1 : 1.7 より緩勾配に設計することが望ましい。
- (4) 植物の定着後、長い年月の経過によって風化土層が形成されても安定した生育基盤を保てるよう配慮する必要がある。

問題 21. のり面保護工についての記述として、**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 連続長繊維補強土工は、連続長繊維を混入した補強土をのり面に吹付ける工法であり、深い崩壊に抵抗する場合や、多量の湧水や流下水の集まる箇所にも用いられる。
- (2) プレキャスト枠工は、緑化基礎工などとして使用されるが、寒冷地域などで凍上によるのり枠の浮き上がりが懸念される箇所にも用いられる。
- (3) 石張工、ブロック張工は、のり面の風化および浸食などを防止することを目的に、基本的に 1:0.5 より緩勾配ののり面に用いられる。
- (4) 吹付枠工や現場打コンクリート枠工は、侵食防止や中詰工の固定・保持のほかに、表層崩壊の抑制の対策として用いられる。

問題 22. 吹付枠工の品質管理における配合計画の留意点として**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 設計基準強度は 18N/mm^2 以上を標準とする。
- (2) 細骨材の粗粒率は 2.0~2.7 の範囲を標準とする。
- (3) 吹付モルタルの単位セメント量は 400 kg/m^3 以上を標準とする。
- (4) 水セメント比 (W/C) は 60%以下を標準とする。

問題 23. 吹付枠工のモルタルの品質管理についての記述として**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 吹付モルタルの圧縮強度試験用供試体は、施工と同様のモルタルをモールドに詰めて作製する。
- (2) 吹付モルタルの圧縮強度試験用供試体は、水中養生を基本とする。
- (3) 普通ポルトランドセメントを用いた場合、材令 7 日で圧縮強度を判断する場合には材令 28 日強度の 70%以上あることを確認する。
- (4) 早強ポルトランドセメントを用いた場合、材令 7 日で圧縮強度を判断する場合には材令 28 日強度の 90%以上あることを確認する。

問題 24. のり面ロープ高所作業の概要に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 斜面崩壊の危険性がある区域でのり面保護工が施工されている。
- (2) のり面保護工の施工は人力に頼る作業工程が多い。
- (3) 人力によるのり面作業には伐採、地山整形から吹付法枠工、鉄筋挿入工など多様な作業がある。
- (4) のり面作業は高所、急勾配での作業が多くライフラインによって身体を保持し作業する。

問題 25. のり面工事の作業計画に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 工事着手前に事前調査を実施し、調査資料を基に作業計画を立てる。
- (2) 事前調査結果は工事終了後 5 年間、保管する。
- (3) 調査結果を踏まえて作成した作業計画は作業員をはじめ関係者に周知する。
- (4) 作業計画にロープの接触・摩耗等による切断防止措置も記載する。

【記述式問題】

あなたが申請時において「実務経験証明書」に記載したのり面工事について、発注者（事業主体）、施工場所（都道府県名）、工事名、工期、およびその工事に含まれていたのり面工の工種を指定の枠内に記述しなさい。

次に、①現場遂行上の課題を挙げ、それに対して②実施した対応（創意工夫を含む）とその対応を採用した理由、および③その結果や評価、後の現場管理に反映した点について、具体的に 400 字以内で述べなさい。

現場の状況を分かりやすく説明するため、簡単な絵を解答欄内に小さく記入してもかまいません。※ただし、枠内に記入すること

メモ用紙